

2026 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名	ブレインズテクノロジー株式会社
代表者名	代表取締役社長 齋藤 佐和子 (コード：4075、東証グロース)
問合せ先	取締役管理部長 河田 哲 (TEL. 03-6455-7023)

**ブレインズテクノロジー、製造現場向け
「フィジカル AI 現場実装・ロボット導入支援サービス」を提供開始
～ロボット基盤モデルと認識技術を組み合わせ、工程選定から実地検証、
現場実装・運用定着まで一貫して支援～**

ブレインズテクノロジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：濱中佐和子、以下：当社）は、製造業を中心とする複数企業とのロボティクス・フィジカル AI 領域における実証、開発および現場実装を通じて蓄積した技術とノウハウを体系化した「フィジカル AI 現場実装・ロボット導入支援サービス」の提供を開始しました。

本サービスでは、ロボット基盤モデルと、AI 異常検知ソリューション「Impulse」で培ってきた画像・動画解析などの認識技術を組み合わせ、ロボットが現場の状況を認識・判断し、自律的に動作する仕組みを構築します。対象工程の選定・適合性評価から実地検証、現場実装、運用・保全設計まで一貫して支援することで、構想や一時的なデモにとどまらず、フィジカル AI を実際の業務成果につなげることを目指します。

■サービス提供の背景

製造現場では、人手不足への対応や生産性向上を目的に自動化が進む一方、多品種少量生産や対象物・配置のばらつき、人の判断を伴う作業など、従来のティーチングや専用機では対応しにくい工程が残されています。

こうした工程への活用が期待されているのが、AI によって周囲の状況を認識・判断し、ロボットなどの機械を自律的に動作させるフィジカル AI です。しかし、製造現場で安定して稼働させるためには、AI やロボットの技術だけでなく、対象工程の選定、既存設備との連携、安全性、運用・保全体制までを一体で設計する必要があります。

当社は、製造業各社やパートナー企業との実証、開発および現場実装を通じて、これらの課題に向き合い、技術とノウハウを蓄積してきました。今回、そこで得られた知見を、工程選定から現場実装・運用定着まで一貫して支援するサービスとして体系化しました。

■「フィジカル AI 現場実装・ロボット導入支援サービス」の概要

本サービスでは、以下の 3 つの要素を軸に、ロボットが「見て・考えて・動く」仕組みを製造現場へ実装します。

1. ロボット基盤モデルと認識技術

先端のロボット基盤モデルに、当社が現場データの解析を通じて培ってきた認識技術を組み合わせます。これにより、対象物の切り出し、奥行きや 3D 姿勢の推定、動きの追跡などを行い、対象物の種類や配置が変化する環境でも、その場の状況に応じた動作を選択できる仕組みを構築します。また、お客様のセキュリティ要件に応じて、オンプレミス環境や閉域環境にも対応します。

2. 機体に依存しない統合開発アセット

フィジカル AI の開発に必要なデータ収集、シミュレーション、学習、検証、実機へのデプロイから、現場での推論・稼働までを一気通貫で扱います。さらに、認識モデルや動作を特定のロボットだけにひもづけず、再利用可能な資産として蓄積することで、別工程への展開や機体変更時の開発負荷を軽減します。

ヒューマノイドロボット、産業用ロボットアーム、双腕・協働ロボット、四足歩行ロボットなど、各種機体への対応実績または具体的な開発基盤を有しており、対象工程に合わせて機体を選定します。

3. 工程選定から現場実装・運用定着までの伴走支援

当社のエンジニアが現場に入り、対象工程の選定、要件整理、適合性評価、実地検証、現場実装、運用・保全設計までを一貫して支援します。技術やソフトウェアを導入して終わるのではなく、現場での安定稼働に加え、最終的にはお客様自身が継続的に運用・改善できる状態を目指して伴走します。

■今後の展望

今後は、製造現場での実装を通じて得られた業務知識、データ、実装ノウハウを再利用可能なアセットとして蓄積します。さらに、ロボットメーカー、商社、エンジニアリング会社をはじめ、各業界に専門性を持つ企業との連携を深め、それぞれの技術や知見を生かすことで、導入の迅速化と他工程・他拠点への展開を進めていきます。

また、製造業で培った技術やノウハウを基盤として、ロボットによる自動化や省人化が求められる他業界にも支援領域を広げていきます。フィジカル AI を一時的な実証にとどめず、現場で継続的に成果を生み出す仕組みとして定着させることで、幅広い業界における人手不足への対応と生産性向上に貢献してまいります。

■サービスページ

フィジカル AI 現場実装・ロボット導入支援サービス：<https://www.brains-tech.co.jp/physical-ai/>

(関連ニュース)

ヒューマノイドロボットによる製造現場自動化の実証結果：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000057.000014739.html>

AWS ジャパン「フィジカル AI 開発支援プログラム」への採択：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000058.000014739.html>

■「Impulse」について

「Impulse」は、センサー・音声・画像・動画など多様なデータを活用し、AI により従来の閾値ベースでは検知できなかった異常を検出したり、機械の判断をより人に近づけることができる異常検知ソリューションです。2014 年のリリース以来、製造現場を中心に累計 35,000 を超える AI モデルが稼働しており、設備の故障予兆、不良品の検出、作業工程の分析・改善など、幅広い領域でご活用いただいています。

Impulse 紹介ページ：<https://www.brains-tech.co.jp/impulse/>

Impulse 導入事例ページ：<https://www.brains-tech.co.jp/impulse/case/>

■お問い合わせ

本サービスに関する詳細情報や導入等のお問合せについては、以下のサービスページをご覧ください。

<https://www.brains-tech.co.jp/physical-ai/>

なお、取材等のお問い合わせについては、以下の「その他のお問合せフォーム」より、ご連絡をお願いいたします。

<https://www.brains-tech.co.jp/contact/>

■ブレインズテクノロジー株式会社について

ブレインズテクノロジーは「企業活動の継続性と生産性の劇的な向上に貢献する」ことをミッションに、「企業がデジタル変革を加速するための AI」を実装するソフトウェアサービス（Impulse、Neuron ES）を提供しています。企業知の創造を支援する想いを込めて、2012 年 3 月に「Enterprise Intelligence（エンタープライズ・インテリジェンス）」を商標登録（第 5472937 号）しています。

名称：ブレインズテクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 濱中佐和子

設立：2008 年 8 月 8 日

会社 HP：<https://www.brains-tech.co.jp>

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です